

07/04・英なきEUきしむ結束 改革始動も不満噴出 中小国、独仏主導に警戒感

- ・買われる日本企業急増 日本企業「売り手」M&A9年ぶり水準 (1-6月)
計3.8兆円、前年同期比77%増 救済型多く 海外企業に対するM&Aは1.9兆円66%減
- ・日銀6月短観 物価見通し最低に 1年後「0.7%上昇」低下は4四半期連続

07/05・公的年金評価損 「4-6月5兆円」と民間試算 2015年度も5兆円以上

- ・マネー潤沢も上がらぬ物価 日銀資金供給、初の400兆円超え (6月末) < 1 >
異次元緩和以降2.7倍に 対GDPの8割 (米国やユーロ圏は2割程度)
- ・英離脱主導のファラージュ党首が辞任「役割果たした」 公約撤回で批判強まる

07/06・国債発行、国の「儲け」600億円 7月10年債マイナス金利で < 2 >

- 買い取る日銀にツケ→政府納付金減少→国民負担増
- ・円上昇、一時100円台 日経平均一時500円下げ 20年債利回り初のマイナス

07/07・米利上げ「待つのが賢明」 FRB、英の動向見極め < 3 >

- FOMC (米連邦公開市場委員会) 6月議事録公開
- ・イラク参戦「最後の手段ではなかった」 英報告書、ブレア政権を批判 < 4 >
問われた米追従「無条件支持、必要なかった」 IS生まれた戦後政策批判
- ・日本原電、英原発に参画 日立の事業 海外で活路探る
原発部品輸出へ企業連合 IHIや中小など50社が中国国有大手と提携

07/08・仮想通貨使い海外送金 三菱UFJ銀 米社と開発へ 手数料安く手続き短縮

- ・日本経常黒字5月2.4%減 22カ月ぶり減少 海外収益目減り
- ・在韓米軍に迎撃システム 北朝鮮ミサイルに対応 中国「強烈な不満」
- ・NY原油 (1バレル=45ドル)、ドバイ原油 (同42ドル台) とともに2カ月ぶり安値

07/09・米雇用28万人増 (6月) 市場予測大きく上回る 円乱高下、一時99円台

NY株、年初来最高値 250ドル高1万8146ドル 雇用改善を好感

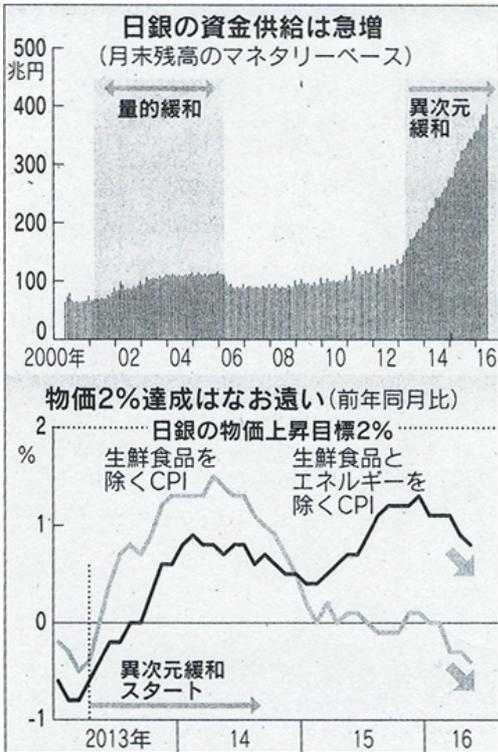
07/10・「秩序ある英離脱を」 米独首脳、混乱回避で一致

NATO (北大西洋条約機構) 首脳会議で (9日ワルシャワ)

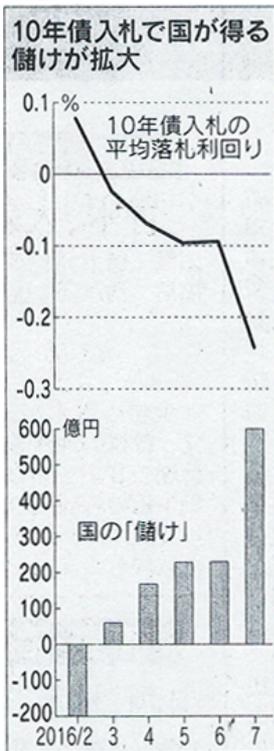
07/11・参院選 (10日投票) 改憲勢力3分の2 与党で改選過半数 < 5 >

民進党苦戦、共闘及ばず 首相、アベノミクス継続、改憲「憲法審査会で議論」
確定投票率54.70% 過去4番目に低い水準
若い世代、自民党支持率、改憲賛成高く

<1>



<2>



<3>

FOMC議事要旨のポイント

- 英国のEU離脱問題は金融市場に混乱をもたらす
- 米雇用指標の急減速で、先行きの不透明感が増した

→「利上げは待つのが賢明だ」と一致

- 国内の規制や財政に不透明感が高まっている
- 企業の設備投資が広範に弱含んでいる

→米経済の長期低迷リスクにも言及

- 金融に多大な衝撃がなく、雇用が十分回復すれば利上げ

→緩やかな金融引き締め路線は維持

<4>

チルコット委 報告書骨子

- 英国は、平和的な方策を尽くす前にイラク侵攻に踏み切った。軍事行動は最後の手段ではなかった
- 開戦に法的根拠があると決断する状況にはほど遠かった
- 情報機関はブレア氏に、開戦すれば英国へのテロの脅威が増し、イラクの兵器や開発能力がテロリストに流出する恐れがあると警告していた
- (大量破壊兵器の脅威など) 対イラク政策が不完全な情報と分析に基づいていたことは明らかだ

<5>

